

帯広畜産大学原虫病研究センター
特任研究員の公募

1. 募集概要

帯広畜産大学原虫病研究センターは、全国で唯一の原虫病研究に特化した文部科学省認定の共同利用・共同研究拠点として、また、国際獣疫事務局（OIE）認定のコラボレーティングセンターとして、国内外の研究・行政機関との連携により、種々の原虫病の制圧に向けた研究を牽引しています。

この度、創造性豊かな若手研究者をセンタースタッフとして受け入れ、このような研究の推進を図ることを目的に、特任研究員の募集を行います。

2. 研究テーマ

以下（１）－（５）の研究テーマについて特任研究員を募集いたします。

※（１）－（４）は当センターにて予め研究テーマを設定した公募、（５）は予め研究テーマを設定しない公募になります。

- （１）「ゲノム編集技術を用いた遺伝子欠損ウシの作出」
- （２）「トキソプラズマ感染病態の理解と新規治療法の確立に向けた創薬基盤研究」
- （３）「遺伝子改変技術を用いたバベシア原虫赤血球寄生機構の解明」
- （４）「新規マダニワクチン候補分子の探索」
- （５）「原虫病の診断・予防・治療・疫学などに関する研究または原虫病を媒介する節足動物に関する研究」研究内容の詳細については採用後受入教員とのディスカッションによって決めていただきます。

また、上記の研究に加えて、当センターで推進している、マダニバイオバンク整備プロジェクト、重点プロジェクト研究、管理運営業務の一部も担当していただきます。

3. 応募資格

博士の学位を有する者、または取得予定者。原虫病研究の経験は問いません。外国籍の方は、事務連絡等に支障のない十分な日本語能力を必要とします。

4. 募集人員

若干名

5. 採用時期

令和２年４月１日以降、採用希望時期を履歴書に明記ください。

6. 採用期間

一年ごと契約更新（３月３１日切替）、最長３年間。

7. 勤務形態

国立大学法人帯広畜産大学特任研究員、フルタイム勤務、年俸４３２万円、手当は通勤手当のみ支給、社会保険料各種の自己負担分を給与から控除する。その他、帯広畜産大学の特任教員就業規則による。

8. 応募書類

- （１）履歴書、業績リスト（学会発表も含む）、主要論文の別刷（３報以内）
- （２）２．「研究テーマ」（１）－（５）から一つを選択して、これまでの研究内容の概要と今後の抱負について記載してください。（A4で１～２枚程度、（５）を選択した方は、希望研究テーマ及び所属分野があれば、記載してください。）
- （３）照会可能な方２名の氏名・所属・連絡先（メールアドレス、電話番号など）

9. 応募書類の受付期間

令和１年１２月２７日（金）必着

10. 選考方法
書類選考と面接

11. 書類提出・問い合わせ先

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線13番地

帯広畜産大学原虫病研究センター長

玄 学南教授

Tel:0155-49-5642; Fax:0155-49-5643; E-mail:protozoa@obihiro.ac.jp